

標準積算システム

工事費内訳書作成ツール（応札者用）

操作説明書



工事費内訳書作成ツールは、電子入札案件において、入札参加業者が工事費内訳書を作成する際に使用するツールです。

本説明書には、工事費内訳書作成ツールの導入や操作について書かれています。

工事費内訳書作成ツール

目次

(応札者用) 操作説明書

第1章 概要	2
1. 概要	2
本ツールは入札の際に使用します	2
業務の流れ	2
本ツール入力の概要	3
第2章 導入（インストール）	6
1. インストール用ファイルの入手	6
インストール用ファイルとは	6
入手方法	6
2. DINPEDIT.zip のインストール	6
インストールとは	6
インストールの前に解凍作業が必要	6
解凍作業	7
インストール方法	8
3. アンインストール	11
アンインストール	11
操作手順	11
第3章 工事費内訳書作成ツールの操作方法	14
1. 内訳書作成の概要	14
内訳書作成の流れ	14
2. 起動し内訳書雛形ファイルを開く	15
内訳書雛形ファイルの入手	15
起動し内訳書雛形ファイルを開く操作	16
操作手順	16
入力が必要な箇所と確認のみ（入力不要）の箇所	18
入力が必要な箇所	18
確認のみ（入力不要）の箇所	20
企業名と積算方法を入力する	21

目次

操作手順.....	21
項目ごとに金額を入力する	22
操作手順.....	22
3. 印刷確認作業と保存・終了.....	26
印刷して確認	26
操作手順.....	26
内訳書を保存して終了.....	28
4. 工事費内訳書作成ツールに関する問い合わせ	30

第1章

概要

本章では、工事費内訳書作成ツール周辺の業務説明などを通じて、本ツールの概要を説明します。

第1章 概要

背景となる業務やツールの概要を説明します

1. 概要

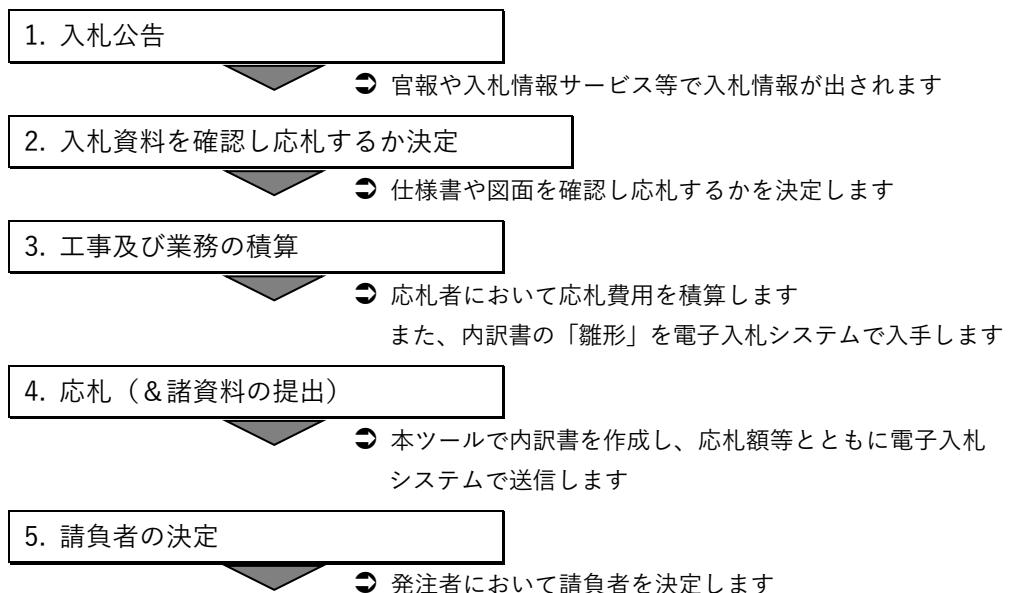
本ツールは入札の際に使用します

応札者は入札において、工事及び業務金額の総額を示します。さらに現行の入札制度では、その総額の内訳を発注者側に提出する必要があります。

内訳の形式は発注者より指定されます（「雛形」と呼ぶ）。雛形を画面に表示し、応札者が入力する環境を提供するのが、本ツールです。

業務の流れ

工事及び業務の入札では、概ね次の流れで入札が行われます。



④ 注意 雛形ファイルの入手や入札は本ツールではできません

内訳書作成の元になる工事費内訳書雛形ファイルのダウンロード（入手）及び、金額を入力し保存した工事費内訳書ファイルの添付や送信は、電子入札システムの機能です。本ツールには、ダウンロード及びアップロード機能はありません。別途、電子入札システムの操作マニュアルをご覧下さい。

電子入札システム操作マニュアル

電子入札のHP(<http://www.maff-ebic.go.jp/menu.html>)より閲覧できます。

注意 雛形ファイルは本ツール以外で編集はできません

内訳書作成の元になる工事費内訳書雛形ファイルは、独自の形式であるため、本ツール以外のプログラムで開いたり編集したりすることはできません。

本ツール入力の概要

地方農政局における電子入札では、参加業者は工事費内訳書を出さなくてはいけません。工事費内訳書は電子入札システムで提出しますが、作成はこの「工事費内訳書作成ツール」で行います。

「工事費内訳書作成ツール」は工事費内訳書を作成するツール（道具）です。

入力画面の例です。赤枠で囲む、企業名、積算方法、金額の3つの内容を入力します。

■ 工事費内訳書作成ツール(Ver.02.00.00) 工事費内訳書作成 テスト 積算書2...

案件番号: 20090A000000030270000 離形作成回数: 4

企業名: [Red box]

積算ソフト

市販のソフトを使用 ソフト名: [Red box]

自社の積算ソフトを使用

積み上りにより行った

表示	レベル	項目	数量	単位	金額
1		費目1 工事価格	1.000	式	¥0
2		費目2 製作工事価格	1.000	式	¥0
3		A 機器単体費	1.000	式	¥0
4	◆ B1	機器設備工	1.000	式	¥0
5		費目2 据付工事価格	1.000	式	¥0
6		費目3 据付工事原価	1.000	式	¥0
7		費目4 直接工事費	1.000	式	¥0
8		A 直接工事費（共通仮設費対象）	1.000	式	¥0
9		B1 運搬工	1.000	式	¥0
10		B2 運搬工	1.000	式	¥0
11		B3 運搬工	1.000	式	¥0
12		B1 据付工	1.000	式	¥0
13		B2 受変電設備工	1.000	式	¥0
14		B3 特高受変電設備工	1.000	式	¥0
15		B3 高圧受変電設備工	1.000	式	¥0
16		B2 電源設備工	1.000	式	¥0
17		B3 発電設備工	1.000	式	¥0
18		費目4 間接工事費	1.000	式	¥0
19		費目5 共通仮設費	1.000	式	¥0
20		A 事業損失防止施設費	1.000	式	¥0
21		B1 事業損失防止施設費	1.000	式	¥0
22		B2 事業損失防止施設費	1.000	式	¥0
23		B3 事業損失防止施設費	1.000	式	¥0

第2章

導入（インストール）

本章では、パソコンへ導入（インストール）する方法を説明します。

また、逆にパソコンから工事費内訳書作成ツールを削除（アンインストール）する方法も説明します。

第2章 導入（インストール）

工事費内訳書作成ツールを使うためには、まず作業するパソコンに本ツールをインストール（導入）する必要があります。以下に方法を説明します。

1.インストール用ファイルの入手

インストール用ファイルとは

農林水産省 電子入札センター（発注者向け）工事費内訳書関連ツールのダウンロードページから圧縮形式のインストール用ファイルを入手します。

インストール用ファイル名：DINPEDIT.zip

入手方法

農林水産省 工事費内訳書作成ツールのページから圧縮形式のインストール用ファイルを入手します。

インストール用ファイル名：DINPEDIT.zip

※ 注意 ファイルの内容及びサイズは工事費内訳書作成ツールのバージョンアップ等によって予告なく変わる事があります。

2.DINPEDIT.zip のインストール

インストールとは

利用者のパソコンに当システムを導入し、使用できるようにすることです。

インストールの前に解凍作業が必要

DINPEDIT.zip は、インストールのための複数のファイルを配布しやすいようにひとまとめにして、圧縮（ファイルサイズを小さくした）したファイルです。このままではインストール作業できず、「解凍」と云う、ひとまとめにして圧縮したファイルを元に戻す操作が必要です。

操作方法については、マイクロソフト社における Windows ヘルプサイトをご確認の上、解凍作業を行なってください。

Windows ヘルプサイト掲載文書名：ファイルを圧縮および解凍する

解凍作業

解凍作業にあたっては、任意の場所に新規フォルダを作成してください。解凍先を新規フォルダ内に設定の上、DINPEDIT.zip を解凍して下さい。下図のように、複数のファイルが格納されたフォルダである DINPEDIT が解凍されます。

名前	更新日時	種類	サイズ
CNF	2024/02/21 11:54	ファイル フォルダー	
LOG	2016/04/27 17:21	ファイル フォルダー	
PRG	2024/02/21 11:54	ファイル フォルダー	
Setup	2024/02/21 11:54	ファイル フォルダー	
TMP	2016/04/27 17:21	ファイル フォルダー	
Inst.exe	2023/08/07 11:05	アプリケーション	23 KB
Install.inf	2024/01/16 15:54	セットアップ情報	3 KB
Param.dat	2017/10/05 9:42	DAT ファイル	1 KB

インストール方法

1. フォルダ内容について

解凍されたフォルダ「DINPEDIT」に格納されている内容は以下のとおりです。

解凍されたフォルダ「DINPEDIT」にインストーラ以外の DLL ファイルが配置された場合、意図せず読み込まれてしまうおそれがあることから、解凍されたフォルダ「DINPEDIT」に格納されている内容が以下のとおりであることを確認してください。

異なるファイルが存在する場合は、解凍されたフォルダである DINPEDIT 及び解凍前の DINPEDIT.zip を削除の上、第2章の最初の「1.インストール用ファイルの入手」より再度行なってください。

```

| Inst.exe
| Install.inf
| Param.dat
|
| CNF
|   SekisanSystem.KoujihUchiwake.EditSetInfo.env
|
| LOG
|
| PRG
|   DevExpress.Data.Desktop.v21.2.dll
|   DevExpress.Data.v21.2.dll
|   DevExpress.Office.v21.2.Core.dll
|   DevExpress.Pdf.v21.2.Core.dll
|   DevExpress.Printing.v21.2.Core.dll
|   DevExpress.RichEdit.v21.2.Core.dll
|   DevExpress.RichEdit.v21.2.Export.dll
|   DevExpress.Sparkline.v21.2.Core.dll
|   DevExpress.Utils.v21.2.dll
|   DevExpress.XtraBars.v21.2.dll
|   DevExpress.XtraEditors.v21.2.dll
|   DevExpress.XtraGrid.v21.2.dll
|   DevExpress.XtraLayout.v21.2.dll
|   DevExpress.XtraPrinting.v21.2.dll
|   H.ico
|   ICSharpCode.SharpZipLib.dll
|   kubun
|   log4net.dll
|   O.ico
|   SekisanSystem.Common.Const.dll
|   SekisanSystem.Common.DaoAdapter.dll
|   SekisanSystem.Common.DaoBase.dll
|   SekisanSystem.Common.DaoColType.dll
|   SekisanSystem.Common.DaoLog.dll
|   SekisanSystem.Common.DaoTableId.dll
|   SekisanSystem.Common.Exceptions.dll
|   SekisanSystem.Common.Logging.dll
|   SekisanSystem.Common.Skin.dll
|   SekisanSystem.Common.SysUser.dll
|   SekisanSystem.Common.Util.dll
|   SekisanSystem.Common.UtilBase.dll
|   SekisanSystem.Common.Zip.dll
|   SekisanSystem.KoujihUchiwake.KoujihUchiwakeCommon.dll
|   SekisanSystem.KoujihUchiwake.KoujihUchiwakeData.dll
|   SekisanSystem.KoujihUchiwake.KoujihUchiwakeEdit.exe
|   SekisanSystem.KoujihUchiwake.KoujihUchiwakeFileUtil.dll
|   SekisanSystem.KoujihUchiwake.KoujihUchiwakeXMLUtil.dll
|
| Setup
|   ICSharpCode.SharpZipLib.dll
|   InstallCommon.dll
|   InstallFile.exe
|   Interop.IWshRuntimeLibrary.dll
|   SekisanSystem.Common.Zip.dll
|   SekisanSystem.SysManage.InstallMessage.dat
|   Uninstall.exe
|

```

2. Inst.exe をダブルクリック（実行）

Inst.exe ファイルをダブルクリックして、実行して下さい。

名前	更新日時	種類	サイズ
CNF	2024/02/21 11:54	ファイル フォルダー	
LOG	2016/04/27 17:21	ファイル フォルダー	
PRG	2024/02/21 11:54	ファイル フォルダー	
Setup	2024/02/21 11:54	ファイル フォルダー	
TMP	2016/04/27 17:21	ファイル フォルダー	
Inst.exe	2023/08/07 11:05	アプリケーション	23 KB
Install.inf	2024/01/16 15:54	セットアップ情報	3 KB
Param.dat	2017/10/05 9:42	DAT ファイル	1 KB

※注意 Inst.exe 以外のファイルは操作しないでください

3. インストール先を選択します

展開が完了すると、下の画面が表示されます。



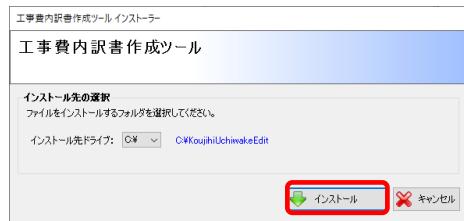
メモ

インストール先は変更することができます

初期状態では、「インストール先ドライブ」に、[C:¥]が設定されていますが、お使いのパソコンで利用可能なドライブに変更可能です。インストールされるフォルダは[KoujihUchiwakeEdit] 固定となっています。

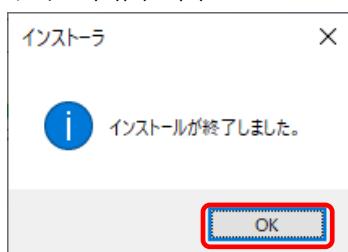
4. インストールをクリック

「インストール」ボタンを左クリックするとインストールが開始されます。



5. インストールの完了を確認

以下の画面が出たらインストールは完了です。OKをクリックして下さい。



6. インストール用ファイルの削除

使用したDINPEDITフォルダ及びDINPEDIT.zipを削除して下さい。

メモ

アンインストール

パソコンから当ツールを削除する場合はアンインストールを行って下さい。

「アンインストール」(P.11)

3. アンインストール

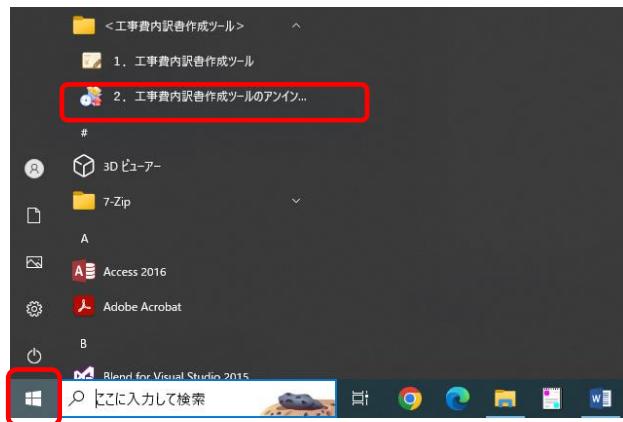
パソコンから工事費内訳書作成ツールを削除するためには、アンインストールする必要があります。

アンインストール

操作手順

1. スタートから実行

「すべてのプログラム」→「<工事費内訳書作成ツール>」→「工事費内訳書作成ツールのアンインストール」と進み実行して下さい。



アンインストールの起動画面が表示されます。

2. アンインストールをクリック



確認画面が表示されます。

3. 「はい」をクリック



下図のようにアンインストールが行われます。



アンインストールが完了すると画面が表示されます。

4. 完了画面で「OK」をクリック



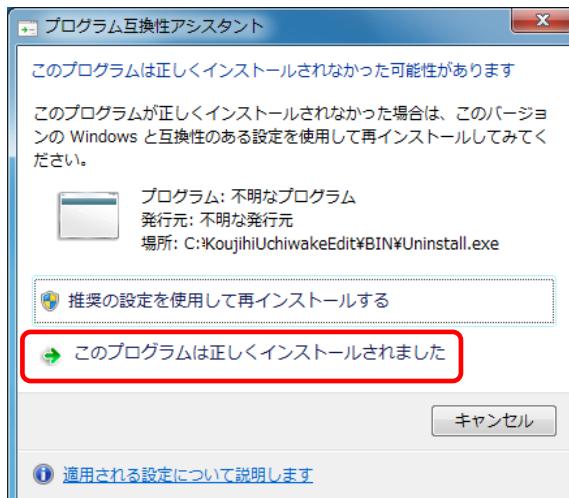
工事費内訳書作成ツールがパソコンからアンインストールされました。

④注意 インストールフォルダにフォルダやファイルが残る場合があります

アンインストール時の状況によってはインストールフォルダ（指定したドライブの KoujihUchiwakeEdit フォルダ）にフォルダやファイルが残る場合があります。
その場合は、ごみ箱に移動させる等で削除してください。

④注意 アンインストールするパソコンによっては「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される場合があります

この画面では「このプログラムは正しくインストールされました」を選択してください。



第3章

工事費内訳書作成ツールの操作方法

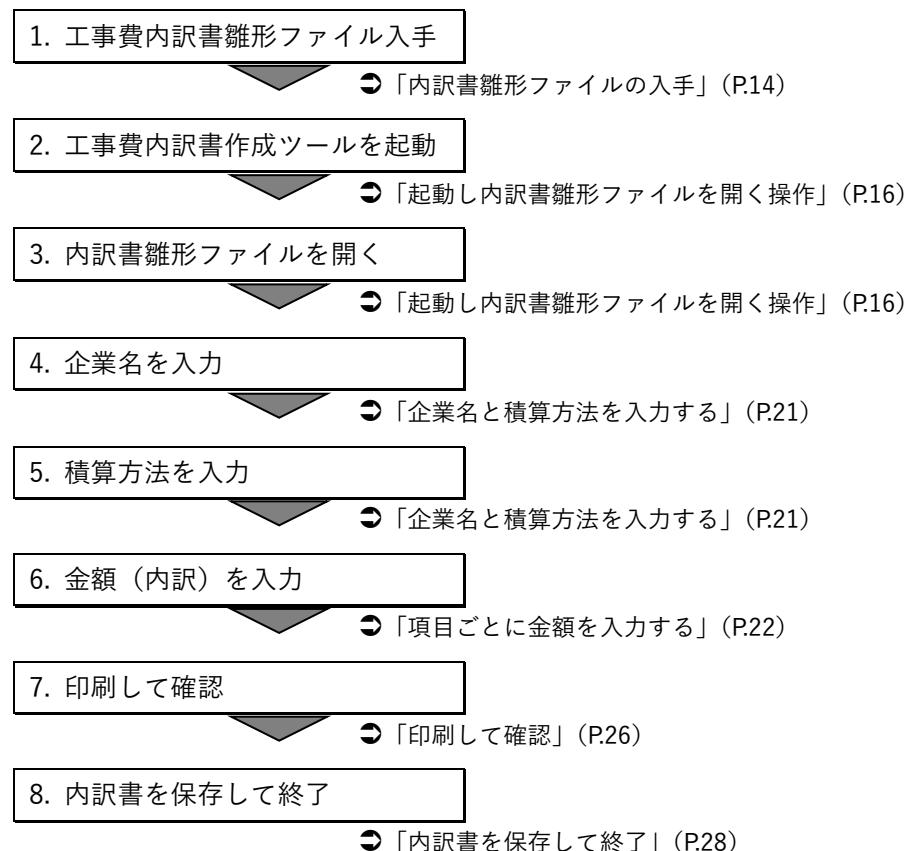
本章では、工事費内訳書作成ツールの業務での実際の使い方を説明します

第3章 工事費内訳書作成ツールの操作方法

本章では、入札参加者が工事費の内訳を入力する、実操作を説明します。

1. 内訳書作成の概要

内訳書作成の流れ



2.起動し内訳書雛形ファイルを開く

内訳書雛形ファイルの入手

工事費内訳書雛形ファイルは電子入札システムの「内訳書をダウンロード」により、あらかじめ入手しておく必要があります。入手しないで操作をすると何も表示されません。

詳細は電子入札システムの操作マニュアルをご覧いただくな、電子入札ヘルプデスクへお問い合わせ下さい。

いずれもインターネットホームページ

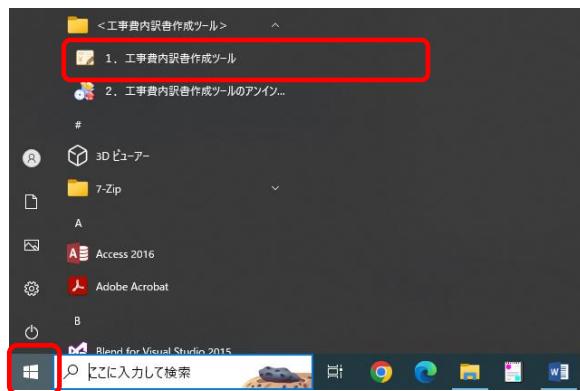
<http://www.maff-ebic.go.jp/menu.html>に掲載、もしくは連絡先の情報があります。

起動し内訳書雛形ファイルを開く操作

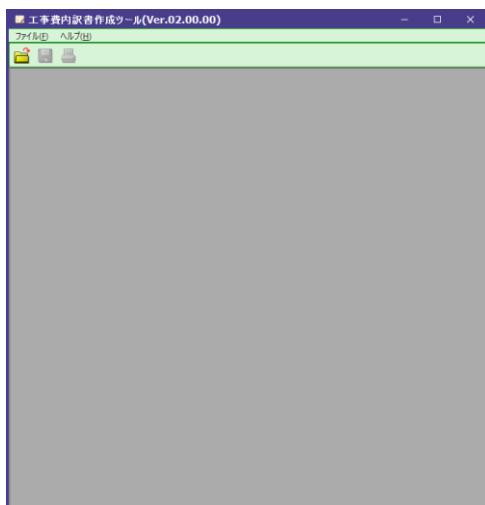
操作手順

1. スタートから実行

スタートから下画面のように操作します。



工事費内訳書作成ツールが起動します。

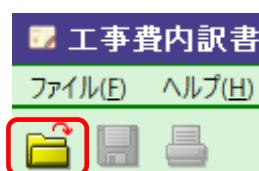


2. ファイルを開く為に「ファイル」→「開く」と操作します

もしくは  アイコンをクリックします。



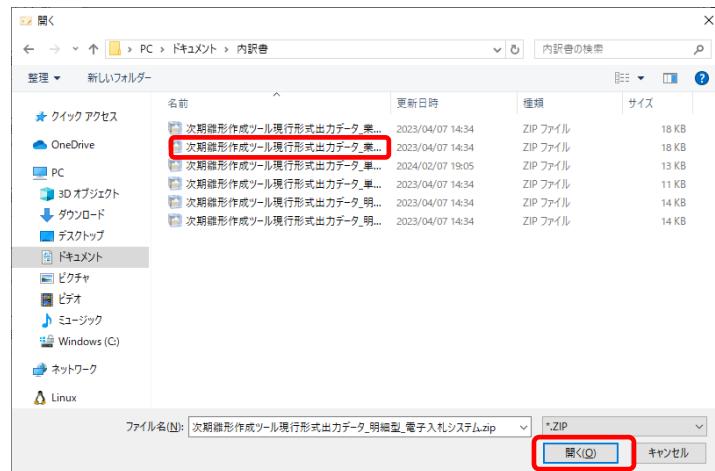
もしくは



内訳書雛形ファイルを選択する画面になります。

3. 内訳書雛形ファイルを開きます

電子入札システムで入手した内訳書雛形ファイルを選択し「開く」をクリックします。



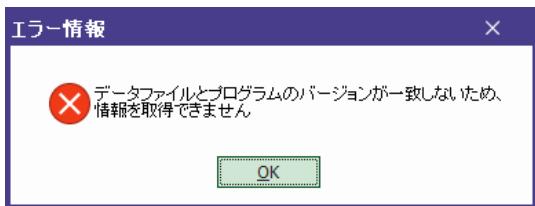
内訳書雛形ファイルが開きます。



メモ

起動したら「バージョンが一致しない」のメッセージが出る時

工事費内訳書雛形ファイルを開こうとしたときに、下図のメッセージが表示された場合は、工事費内訳書作成ツールが古いことが考えられます。この場合、前述した「第2章 導入（インストール）」の方法で、再インストールを行って下さい。



入力が必要な箇所と確認のみ（入力不要）の箇所

入力が必要な箇所

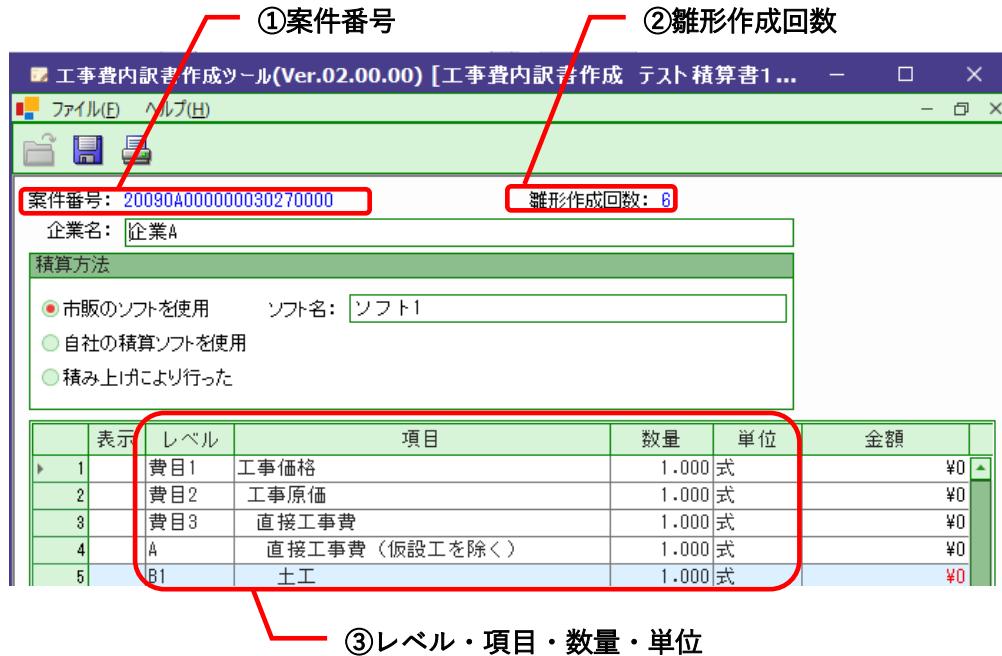
入力が必要な箇所は次の3箇所です。必須であり省略することはできません。



番号	項目名	説明
1	企業名	会社名及び営業所名を入力します。
2	積算方法	入力する内訳金額を求める積算方法を左側部分に指定します。積算方法として「市販のソフトを使用」を選択した場合に、ソフト名を入力します（必須）。それ以外はソフト名を入力する必要はありません。
3	金額	<p>金額入力 行（背景色）と文字の色の意味</p> <p>行 水色 上位レベルに金額が反映される行です。</p> <p>行 白色 上位レベルに金額が反映されない行です。 もしくは入力不可の行。</p> <p>文字(赤) 上位レベルに金額が反映される行でかつ未入力（0円）</p> <p>文字(緑) 上位レベルに金額が反映されない行でかつ未入力（0円）</p> <p>文字(黒) 入力済み、もしくは入力不可</p> <p>※任意入力の入力項目については、入札説明書に従ってください</p> <p>※金額はいずれも半角で入力下さい（マイナス金額は入力できません）</p> <p>※レベル毎に金額の扱いが異なります。詳細は26ページを参照して下さい。</p>
4	表示	<p>表示（必要に応じて操作）</p> <p>ダブルクリックすると、折り畳みが行われ、「◆」が表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>ここを ダブルクリック</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>B2 レベルが折り 畳まれ、◆が表示</p> </div> 

確認のみ（入力不要）の箇所

次図の欄には入力できません。



番号	項目名	説明
①	案件番号	案件を示す番号です。 発注者に問合せする際に使用します。
②	雛形作成回数	工事費内訳書雛型のバージョン番号です。 発注者に問合せする際に使用します。
③	レベル・項目・数量・単位	いずれもあらかじめ指定されており、これらの項目毎に金額を入力します。

企業名と積算方法を入力する

入札参加者の企業名および営業所名と、内訳金額を求める際に使った積算方法を、それぞれ入力します。必須入力です。

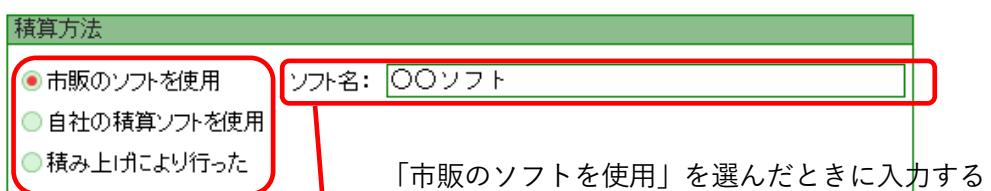
操作手順

1. 「企業名」欄をクリックし、企業名を入力する。



2. 3つの選択肢から積算方法を選んでクリックする。

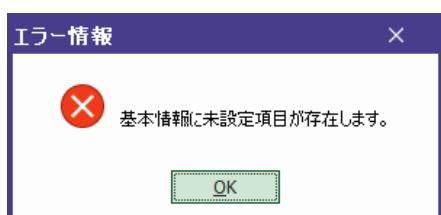
「市販のソフトを使用」を選んだときは、「ソフト名」欄に使用したソフト名を入力します。



続いて、「金額」欄に内訳金額を入力します。

⚠ 注意 企業名、積算方法は必ず入力しなければいけません

企業名が空欄または「市販のソフトを使用」を選択していて右の「ソフト名」が空欄の場合、以下のメッセージが表示され保存できません。



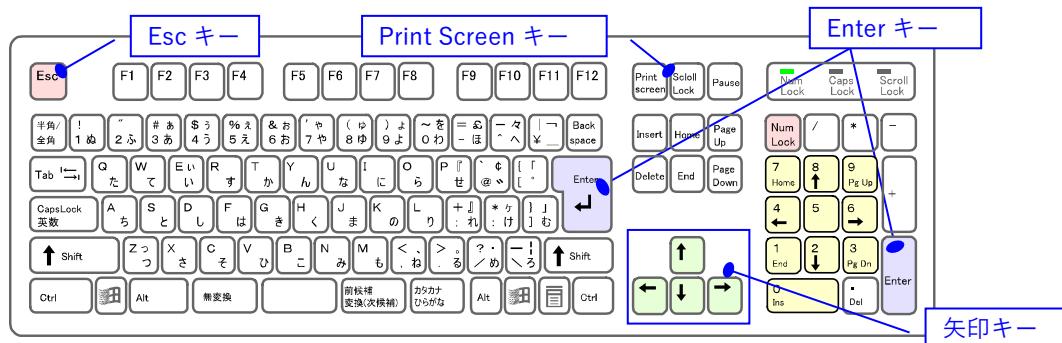
項目ごとに金額を入力する

本ツールの主たる部分です。工事費の内訳を項目ごとに入力します。必須入力です。

操作手順

操作手順を説明しますが、下図に標準的なキーボードを説明します。

(参考) キーボードの説明 (標準例)



1. 入力した金額欄をダブルクリックするか、選択し何かキーを押します

金額が赤又は緑で表示されている欄のみ入力ができます。マウスでダブルクリックするか、その欄に矢印キーを動かし、何かキーを押します。

表示	レベル	項目	数量	単位	金額
1	費目1	工事価格	1.000	式	¥0
2	費目2	工事原価	1.000	式	¥0
3	費目3	直接工事費	1.000	式	¥0
4	▲	直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式	¥0
▶ 5	B1	土工	1.000	式	¥0
6	B2	作業土工	1.000	式	¥0
7	B2	掘削工	1.000	式	¥0

金額欄にカーソルが表示され入力できるようになります。

2. 金額を入力します Enterキーか他の項目をクリックし確定します

金額が赤又は緑で表示されている欄のみ入力ができます。マウスでダブルクリックするか、その欄にカーソルを動かし、何かキーを押します。この操作を繰り返し、入力して行きます。

表示	レベル	項目	数量	単位	金額
1	費目1	工事価格	1.000	式	¥0
2	費目2	工事原価	1.000	式	¥0
3	費目3	直接工事費	1.000	式	¥0
4	A	直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式	¥0
5	B1	土工	1.000	式	1,500,000
6	B2	作業土工	1.000	式	¥0
7	B2	掘削工	1.000	式	¥0

入力が確定し、必要な積み上げ計算が行われます。

表示	レベル	項目	数量	単位	金額
1	費目1	工事価格	1.000	式	¥1,500,000
2	費目2	工事原価	1.000	式	¥1,500,000
3	費目3	直接工事費	1.000	式	¥1,500,000
4	A	直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式	¥1,500,000
5	B1	土工	1.000	式	¥1,500,000
6	B2	作業土工	1.000	式	¥0
7	B2	掘削工	1.000	式	¥0

メモ

レベルの意味

レベルの欄の意味は下表のとおりです。

表記	意味
費目 1～	費目のレベルを表します。トップの工事価格を 1 として 2,3 と階層が下がります。
A	明細の最上位であることを示します。
B1～	「A レベル」明細の内訳を「B1」明細、さらにその内訳を「B2」明細として表示します。
B0	施設毎に工事費を区分した場合などに利用され、A レベルと B1 レベルの間に表示されます。

メモ

レベル毎の金額の扱い

レベルにより金額の扱い(必須入力なのか、自動集計の方法)が違います。
通常は以下のとおりです。

- 一般土木工事では下表のとおりです。

表記	意味
A	B0 または B1 レベル明細の積上げによる自動設定。入力不可。
B0	ダウンロードした内訳書により存在有無が異なる。 B1 レベル明細の積上げによる自動設定。入力不可。
B1	<small>注</small> A レベル明細への積上げ計算が行われる。
B2	<small>注</small> B1 レベル明細への積上げ計算は行われない。
B3	行が表示されず、入力不可。

- 施設機械設備製作据付などの案件の場合は、下表のとおりになります。

表記	意味
A	B0 または B1 レベル明細の積上げによる自動設定。入力不可。
B0	ダウンロードした内訳書により存在有無が異なる。 B1 レベル明細の積上げによる自動設定。入力不可。
B1	B 2 レベル明細の積上げによる自動設定。入力不可。
B2	<small>注</small> B 1 レベル明細への積上げ計算が行われる。
B3	<small>注</small> B 2 レベル明細への積上げ計算は行われない。

- 調査・測量・設計などの業務案件の場合は、下表のとおりになります。

表記	意味
A	<small>注</small> 上位の費目へ積上げ計算が行われる。

※注意 率計算の項目は必ず入力します

一般管理費や現場管理費等、率計算で求める費目の金額については必ず入力して下さい。
本ツールでは、率計算は行いません。

※注意 一般土木工事の B2 及び一般土木工事以外の B3 については入札説明書に従ってください

メモ

一括発注の工事費内訳書の注意

施設機械の製作と据付、業務委託の調査と測量及び設計、一般土木工事と業務委託、のような一括発注案件の場合は、「総合表示価格」の行及び、明細の区切りを示す「工事（業務）名」の行が表示されます。一般土木工事と調査業務を一括発注する場合の例を下図に示します。

表示	レベル	項目	数量	単位	金額
1		総合業務価格	1.000	式	¥0
2					
3	▶	業務名 工事別工事 一般土木工事			¥0
4					
5	費目1	調査業務価格	1.000	式	¥0
6	費目2	一般調査業務費	1.000	式	¥0
7	費目3	純調査業務費	1.000	式	¥0
8	費目4	直接調査費	1.000	式	¥0
9	△	直接人件費～機械経費	1.000	式	¥0
10	費目5	直接経費（電子成果品作成費）	1.000	式	¥0
11	費目4	間接調査費	1.000	式	¥0
12	△	間接調査費（施工管理費以外）	1.000	式	¥0
13	費目5	施工管理費	1.000	式	¥0
14	費目3	諸経費	1.000	式	¥0
15					
16	▶	業務名 工事別工事 調査業務			¥0
17					
18	費目1	測量業務価格	1.000	式	¥0
19	費目2	測量作業費	1.000	式	¥0
20	費目3	直接測量費	1.000	式	¥0
21	△	直接人件費～機械経費	1.000	式	¥0
22	費目4	直接経費（電子成果品作成費）	1.000	式	¥0
23	費目4	技術管理費	1.000	式	¥0

表記	意味
1 行目	それぞれの工事（業務）価格を加算した、総合工事価格を表示する行です。自動積み上げにより、金額が表示されます。
3 行目	1 工事（業務）目の内容を示す名称を表示する行です。上図の例では、レベル欄に「工事名」と表示されます。5 行目以降に工事の明細が表示されていることを示します。自動積み上げにより、金額が表示されます。
16 行目	2 工事（業務）目の内容を示す名称を表示する行です。上図の例では、レベル欄に「業務名」と表示されます。18 行目以降に業務の明細が表示されていることを示します。自動積み上げにより、金額が表示されます。

3 工事（業務）以上の一括発注の場合も上図と同様、1 行目に総合工事（業務）価格、それぞれの工事（業務）の先頭に工事（業務）の内容を示す名称が表示されます。

3. 印刷確認作業と保存・終了

入力した内訳書を印刷する実操作を説明します。

印刷して確認

入力した内訳書を印刷し確認することができます。

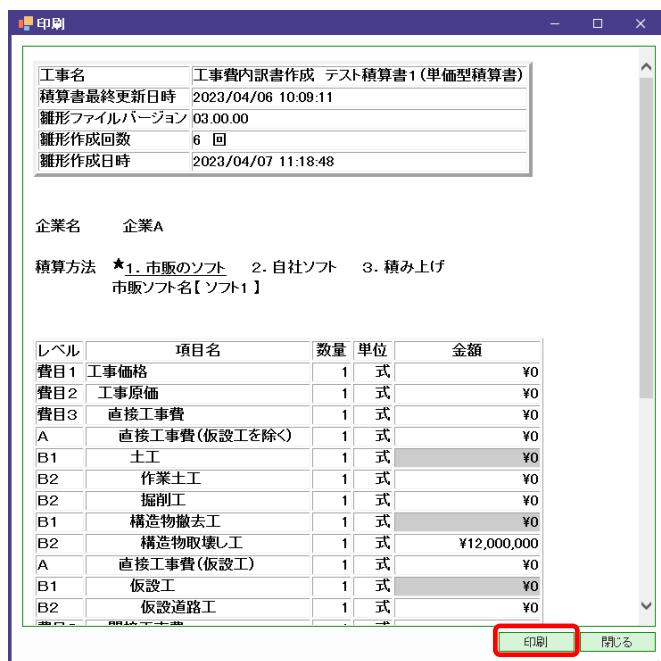
操作手順

1. メニューから選択するか、アイコンをクリックします



印刷される内容が画面で表示されます。

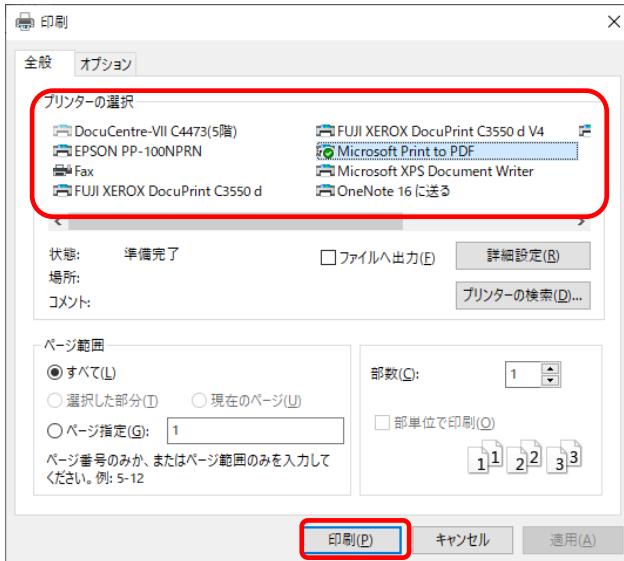
2. 「印刷」をクリックします



プリンタの選択・印刷画面が表示されます。

3. プリンタを選択し「印刷」をクリックします

プリンタを選択し、「印刷」をクリックします。



プリンタに印刷されます。

工事費内訳書作成 テスト積算書1(単価型積算書) Page 1 of 1

工事名	工事費内訳書作成 テスト積算書1(単価型積算書)		
積算書最終更新日時	2023/04/06 10:09:11		
離形ファイルバージョン	03.00.00		
離形作成回数	6 回		
離形作成日時	2023/04/07 11:18:48		

企業名 企業A

積算方法 *1. 市販のソフト 2. 自社ソフト 3. 繰み上げ
市販ソフト名【ソフト1】

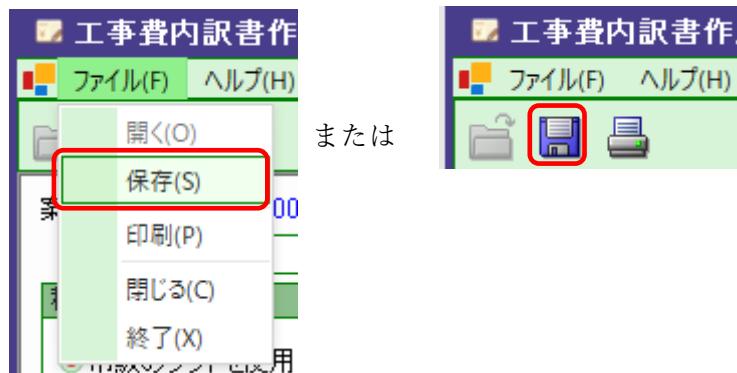
レベル	項目名	数量	単位	金額
費目1	工事価格	1	式	¥0
費目2	工事原価	1	式	¥0
費目3	直接工事費	1	式	¥0
A	直接工事費(仮設工を除く)	1	式	¥0
B1	土工	1	式	¥0
B2	作業土工	1	式	¥0
B2	掘削工	1	式	¥0
B1	構造物撤去工	1	式	¥0
B2	構造物取壊し工	1	式	¥12,000,000
A	直接工事費(仮設工)	1	式	¥0
B1	仮設工	1	式	¥0
B2	仮設道路工	1	式	¥0
費目3	間接工事費	1	式	¥0
費目4	共通仮設費	1	式	¥0
A	事業損失防止施設費	1	式	¥0
B1	共通仮設(積上げ)	1	式	¥0
B2	事業損失防止施設費	1	式	¥0
費目5	運搬費～荷揚費等	1	式	¥0
費目6	現場環境改善費	1	式	¥0
費目7	現場環境改善費(率計上)	1	式	¥0
費目4	現場管理費	1	式	¥0
費目2	一般管理費等	1	式	¥0
A	一括計上価格	1	式	¥0
B1	一括計上	1	式	¥0
B2	一括計上	1	式	¥0

網掛けは必須入力

内訳書を保存して終了

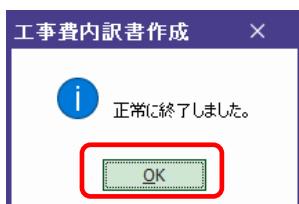
内訳書を入力したら、必ず保存して下さい。その後に終了します。

1. メニューから選択するか、アイコンをクリックします



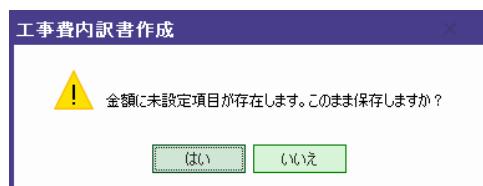
正常に保存できれば「正常に終了しました」の画面が表示されます。

2. 「OK」をクリックします



メモ 「金額に未設定項目が存在します」と表示されたら

金額が必須入力であるのに未入力である行（赤色で¥0と表示されている行）が存在する状態で保存しようとすると、以下のメッセージが表示されます。



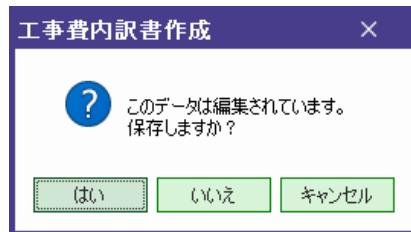
「はい」ボタンを押すとそのまま編集内容が保存され、「いいえ」ボタンを押すと保存がキャンセルされます。

3. 「ファイル」から「終了」をクリックします



システムが終了します。後は、工事費内訳書ファイル（保存した「〇〇工事.ZIP」ファイル）のアップロード（送りこみ）を電子入札システムで行って下さい。

メモ 「このデータは編集されています。保存しますか」と表示されたら内訳書を保存していないと下図のメッセージが出ます。「はい」をクリックすると保存して終了します。「いいえ」では入力したものを保存せずに終了します。



4.工事費内訳書作成ツールに関する問い合わせ

工事費内訳書作成ツールに関する

一次受付窓口は電子入札センターヘルプデスクにて承ります。

TEL : 048-254-6031

E-mail: help@maff-ebic.go.jp

月～金 9:00～12:00, 13:00～16:00 (※土日、祝日、年末年始を除く)

なお、入力項目、内容、紙入札時のデータの受け渡し等については、
発注機関にお問い合わせ下さい。